

(2) 生体制御医学に関する分野を主として履修した場合

履修例1： 主科目として血液免疫制御学を選択し、主科目を補完する副科目として、病態診断病理学および分子腫瘍学の講義を選択した。関連する基礎的および先端的知識と技術習得するための共通科目として、生命倫理学、実験動物学、英語論文作成法、産学連携ガイダンス、の4科目を選択した例である。

履修例2： 主科目として腎機能治療学を選択し、主科目を補完する副科目として、先進医療学および泌尿生殖器治療学の講義を選択した。関連する基礎的および先端的知識と技術習得するための共通科目として、生命倫理学、医学統計学、産学連携ガイダンス、大学教員養成プログラムの4科目を選択した例である。

		授業科目の名称	単位数	履修例1	履修例2	
授業科目の概要	専門科目 (主科目)	(生体制御医学分野)				
		血液免疫制御学講義	4	○		
		血液免疫制御学演習	4	○		
		血液免疫制御学実験実習	4	○		
		腎機能治療学講義	4		○	
		腎機能治療学演習	4		○	
		腎機能治療学実験実習	4		○	
	専門科目 (副科目)	(生体機能形態医学分野)				
		病態診断医学講義	4	○		
		先進医療学講義	4		○	
(生体制御医学分野)						
泌尿生殖器治療学講義	4		○			
共通科目	(健康生態医学分野)					
	分子腫瘍学講義	4	○			
	(共通科目)					
	生命倫理学	1	○	○		
	医学統計学	1		○		
	研究倫理	1				
	疫学・臨床疫学	1				
	分子生物学入門	1				
	実験動物学	1	○			
	英語論文作成法	1	○			
産学連携ガイダンス	1	○	○			
大学教員養成プログラム	1		○			
医学研究セミナー	1					
特別研究	生命医科学特別研究	6	○	○		
合計修得単位数				30	30	